

‘甘平’の灌水管理が裂果や果実品質に及ぼす影響

‘甘平’は、夏秋期に多発する裂果が栽培上の問題となっており、その対策として、積極的な灌水の実施が有効とされている。そこで、自動灌水システムを活用した夏秋期の灌水管理が、裂果や果実品質に及ぼす影響について検討した。

【試験区の概要】

試験区	灌水量 (L/樹・日)	灌水期間(月/日)		
		R2年	R3年	R4年
多灌水区	12.3	8/13~9/26	8/16~10/4	8/2~10/2
少灌水区	3.1			



樹冠下に点滴チューブを2本設置
(点滴孔間隔 30cm、吐出量 2.3L/h)

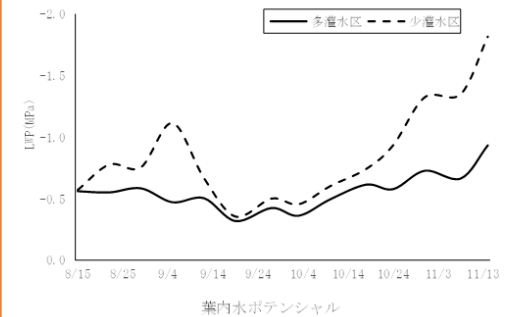


表 ‘甘平’の灌水方法の違いによる裂果率と果実品質

	裂果率(%)			糖度(° Brix)			クエン酸含量(g/100ml)		
	R2年	R3年	R4年	R2年	R3年	R4年	R2年	R3年	R4年
多灌水	28.6	34.1	27.2	14.6	14.0	15.0	0.70	1.26	1.42
少灌水	38.1	37.1	36.8	15.0	15.2	14.9	0.69	1.36	1.59

※裂果率の調査期間は、R2年:8月21日~10月27日、R3年:8月13日~10月18日、R4年:8月8日~10月24日。

※品質分析日は、R2年:1月11日、R3年:1月24日、R4年:1月16日。

果実品質は、少灌水区で糖高酸高の傾向。

裂果率は年による差がみられるものの、夏秋期の灌水によって軽減する傾向が確認された。